



平成24年3月6日

『池袋防災館』の地震体験コーナーがリニューアルオープン！

東日本大震災・長周期地震動による揺れと
実際の被災映像やCGを駆使したリアルな地震体験

昭和61年11月9日、都民の防火防災知識の啓発と防災行動力の向上を目的に、東京消防庁池袋都民防災教育センター（通称：「池袋防災館」）が開館しました。

ここは、インストラクターがツアー方式で案内をしながら、「地震・消火・煙・応急救護・図上訓練などの体験」ができる、入場無料の施設です。

東日本大震災が発生してまもなく1年。私たちが経験し、そして、これからの私たちが学んでおかなければならない防災に関する知識や行動力を身につけられるよう、「池袋防災館」の地震体験コーナーが、下記のとおり、3月11日に装いも新たにリニューアルオープンしますのでお知らせします。

記

1 リニューアルオープン等の日程

(1) プレオープン（報道関係者向け）

ア 日時

平成24年3月9日（金） 9時30分～12時00分

イ 場所

東京都豊島区西池袋2-37-8
池袋防災館5階（別図参照）

ウ 内容

3月11日（日）のリニューアルオープンに先駆け、プレオープンとして、新しい地震体験コーナーの試乗ができます。

(2) リニューアルオープン（一般者向け）

ア 日時

平成24年3月11日（日） 9時00分～17時00分

イ 場所

東京都豊島区西池袋2-37-8
池袋防災館5階（別図参照）

ウ 内容

池袋防災館において、下記のイベントを実施します。

- (7) 9時00分の開館時間から、地震体験コーナーの運用が開始されます。当日の午前中は地元町会の皆さんが来館し、新しい地震体験コーナーを含めた防災体験ツアーに参加します。
- (i) 当日の13時00分からは、新しい地震体験コーナーを含めた全てのコーナーを自由に体験できる「フリー体験の日」とします。
- (ii) 当日の13時00分からは、「家具類の転倒・落下・移動防止室内安全対策セミナー」を池袋防災館4階視聴覚教室で開催します。
- (I) 東日本大震災発生1年となることを鑑み、セレモニーの実施等は予定しておりません。

2 地震体験コーナーのリニューアルの内容

新たな地震の体験装置を導入し、長周期地震動による大きな横揺れや、東日本大震災で観測された波形に基づく揺れを体験できるようになりました。

また、地震の体験装置の周囲には半球形の大型スクリーンが設置され、揺れに合わせて、過去の震災発生時の映像やCGで再現された室内の様子が投影されることで、よりリアルな体験ができるようになりました。

その他にも、緊急地震速報を活用した身の安全の守り方や、この度見直された「地震 その時10のポイント」の説明、地震の発生のメカニズムを学べる映像資料の放映等、様々な新しい機能が盛り込まれました。

地震体験コーナーの詳細については、別添えを参照してください。

3 スケジュール

(1) 平成24年3月9日（金）

9時30分	池袋防災館5階ロビー集合
9時40分	池袋防災館5階地震体験コーナー 概要説明
9時50分～ 12時00分	開館時間中は自由に取材できます。

(2) 平成24年3月11日（日）

9時00分～ 17時00分	開館時間中は自由に撮影できます。 なお、取材を希望する社は、事前に池袋防災館に取材の申し込みをしてください。
------------------	---

4 取材に伴う注意事項

- (1) 3月9日の取材を希望される社は、3月8日（木）12時までに、広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 事前レクチャーを9時30分から池袋防災館5階ロビーで行います。
- (3) 取材の際は、自社腕章を必ず着用してください。

- (4) 取材の際は、係員の指示に従い事故防止に十分注意してください。
- (5) 駐車場は、ありませんので予めご了承ください。

5 防災館のイベント情報

- (1) 「家具類の転倒・落下・移動防止室内安全対策セミナー」は、3月20日（火・祝）に本所防災館で、3月21日（水）に立川防災館でも開催されます。
また、3月1日（木）より各防災館において、「家具類の転倒・落下・移動防止対策キャンペーン」を実施しています。
- (2) 本所防災館では、3月1日（木）より「防災シアター」において、津波等に対する防災意識啓発ビデオ「TOKYO津波警報 ～確かな避難～」の放映を開始しています。
- (3) 池袋防災館では、3月9日（金）より「消火体験コーナー」もリニューアルオープンします。コーナー全体が白と赤で統一された内装となり、近年、一般住宅やマンションを中心に普及が進んでいる住宅用消火器の使い方や、町会等で整備されているD級可搬ポンプの取扱い方法が体験できます。

問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212 - 2111）
防災安全課地域安全係 内線 4225
広報課報道係 内線 2345～2349

池袋防災館案内マップ



場 所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-37-8

交 通 JR 池袋駅（南口・西口・メトロポリタン口）から徒歩5分

開館時間 午前9時～午後5時

休 館 日 火曜日・第3水曜日（国民の祝日に当たる場合は翌日になります。）
年末年始（12月28日～1月4日）

入 館 料 無料

駐 車 場 なし

問 合 せ 先 東京消防庁池袋都民防災係防災教育センター（池袋防災館）

TEL 03-3590-6565 FAX 03-3590-6843

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/ts/ik/ikeb.htm>

地震体験コーナーでできること

(注) 下線は新しく追加された内容

1 長周期地震動対応型地震発生装置による地震の体験

- ① マニュアル加震 (気象庁震度階級に基づく震度1～震度7までの揺れ)
- ② プログラム加震 (過去に発生した震災で観測された波形による揺れ)

- (1) 東日本大震災
- (2) 阪神・淡路大震災
- (3) 新潟県中越地震
- (4) 関東大震災
- (5) 長周期地震動

③ 映像による効果的な演出

大型スクリーンに映像を投影し、それぞれの地震の揺れに合わせて演出をします。

- ・ マニュアル加震 … CGで制作された室内の様子を投影します。
- ・ プログラム加震 … それぞれの震災で記録された実際の映像を投影します。

④ 緊急地震速報を活用した地震の体験

- ・ マニュアル加震においては、緊急地震速報を活用した体験(揺れが始まる前に緊急地震速報が流れる)ができます。

2 映像機器類を使用した指導

大型スクリーンを用いて、様々な映像や画像を用いた防災教育指導ができます。

- ① 「地震 その時10のポイント」のスライド映像による指導
- ② 地震発生メカニズムに関する防災教育動画の放映
- ③ スライド映像を活用した地震発生時の行動に関するクイズ
- ④ DVD・BDの再生による様々な防災教育動画の放映

3 液状化現象のしくみを再現できる模型の設置

4 家具類の転倒・落下・移動防止対策について学習できるコーナーの設置



○ 防災館とは？

東京消防庁の施設で、都民の防災知識の高揚と防災行動力の向上を目的として設置されています。

東京都内に3か所あり、池袋防災館のほか、立川と本所の計3か所あります。

○ 池袋防災館とは？

昭和61年11月9日に開館し、昨年の11月9日で25周年を迎えました。

都心にあり、また、池袋駅に近いこともあり、地元町会の方はもちろん、都内の事業所や学校といったさまざまな方から多く利用されており、まもなく開館以来の来館者が150万人を迎えます。

○ どんな体験ができるの？

今回、リニューアルした地震の体験以外にも、消火器や屋内消火栓、D級可搬ポンプといった様々な資器材の使い方を学べる消火体験、煙が充満した部屋の中を避難する方法を学べる煙体験、心臓マッサージやAEDの使い方が学べる応急手当体験等を、インストラクターと呼ばれる指導者が解説をしながらツアー形式でご案内しています。

○ 東日本大震災が発生してから、何か変化はありましたか？

震災が発生してしばらくは、来館者数は例年に比べ少ない状況でしたが、平成23年6月頃から防災に関する高まりを受けて、各防災館とも大幅に来館者が増え始めました。今年度は、過去最高の来館者数を記録する見込みです。

○ 各防災館でコンセプトはありますか？

都内3か所にある防災館は、基本的な防災体験として、初期消火・煙・応急手当・地震・シアター等における動画の視聴ができるようになっています。

これらの基本的な体験以外に、それぞれの防災館の立地等を考慮したオリジナルの体験コーナーを設けています。

池袋防災館は「自主防災組織対応型」として、町会や自治会の方が、「自分たちのまちは自分たちで守る」ために必要となる知識や技術が学べるよう、「図上訓練コーナー」や「救助・救出体験コーナー」が設置されています。

本所防災館は、「川の手地域」と呼ばれる土地が低い位置にあるため、風水害に関する体験ができるコーナーが設置されています。30mの風速と台風並みの大雨が体験できる「暴風雨体験コーナー」、地下街が浸水したい際、扉がどのくらい開きにくくなるかを体験できる「都市型水害コーナー」等です。

立川防災館は、当庁が推進する「総合防災教育」を重点的に体験できる防災館として、今後、特色づけた改修が進められる予定です。

○ 防災館は有料ですか？

体験は無料です。